



山本りか 県議会通信

2020・3・30 第35号 発行：三重県議会・日本共産党



新型コロナウイルス感染症対策にかかわる緊急要望(項目)

1. 感染拡大防止のために、保健所の機能を強化するとともに、医師の判断により確実にPCR検査が行えるようにすること。また、検査が医療保険適用となるなか、検査体制の強化・支援を行うこと。
2. コロナウイルス感染症患者入院病床の十分な確保を行い、公立・公的病院が中心となって機能を果たすこと。
3. 感染の不安がありながら、国保保険料が未払のために保険証がなく、受診できない状況をなくすため、保険証を大至急本人に届けるよう、各市町に要請すること。
4. 中小企業・小規模企業向けの相談窓口の開設時間拡充。中小企業・小規模企業への無利子貸し付けではなく、援助金を創設するよう国に求めること。また、県独自の援助金措置を創設すること。
5. イベント中止や学校の休校等による県内業者の直接・間接な影響について、緊急に調査を行い、不利益を被らないよう手立てすること。
6. 雇用調整助成金の特例の緩和にとともに、必要なすべての事業者にいきわたるよう手立てすること。
7. 仕事を休まなければならなくなった労働者やフリーランスを含む個人事業主に休業助成金が行きわたるよう手立てすること。
8. 教育委員会会議を早急に招集し、医療専門家、校長会長などを参考人として招き、今後の学校運営のあり方に関して研究調査・判断すること。状況変化に応じ重ねて会議を行い教育委員会としての責務を果たすこと。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に対する政府からのイベント開催自粛要請を受けて「春休みまでの県立学校の臨時休業」を決定し、市町に通知した結果、多くの市町がそれにならない、児童生徒はもちろん、保護者や地域に大きな不安と混乱をもたらしました。

山本りか県議が、関連質問で「学校休業決定の経緯」を聞くと、県教育委員会は教育委員会会議を開催せず要請そのままに休校を指示したことがわかりました。また、山本りか県議は、病院や商店、観光施設、幼稚園や学校に出向いて聞き取り調査をし、党の市町議員からの報告も受け3月13日県知事に緊急の要望書を提出。議会の求めに應じ19日には、全員協議会が開催され、知事・部局長が対応経過と今後について説明、国に対する要望と共に、県では2度にわたる補正予算を計上。マスク・検査試薬の確保や検査体制補強の予算、学童クラブへの手立て、融資の拡大、経営補助の手立てなどがなされます。さらに状況判断し、追加の補正予算も組まれる模様です。

- ①休業中の生徒の実態について調査・把握し判断に役立てること。
- ②個別指導・入試関連に係って、防疫対策として必要な資材を用意すること。
- ③非常勤の教職員等（SSW,SC含む）の休校期間中給与等の補償を行うこと。
- ④市町に対して小・中学校の給食材料等納入業者に対する特別の支援策を援助すること。
- ⑤進級・進学を迎える生徒たちの、こころのケアや生活・学習習慣の保持に全力を尽くすこと。

3月13日、日本共産党県議会議員山本りかとして、県委員会と連名で申し入れをしました。

消費税増税に新型コロナのダブルパンチ 暮らしや経営の大変さを調査しています。ご意見・ご要望ください。

「自分で出来る対策はしっかりとしなければならぬ。使い捨てマスクは必要などところで使っていたがなくなるとはならないのでマスクを手作りした」と、紹介しながら関連質問する山本県議。



そんたく

2020年度予算は忖度予算

3月19日 反対討論

安倍・自公政権によるこの間の消費税増税や社会保障の給付減・負担増、物価高、派遣法改悪、そしてコロナ感染症対応など、県民も県内事業者も打撃を受け続けている。気候変動や乱開発で自然環境や生活環境が危機に向かっている。県政がどれだけ力を発揮できるかが問われる。国の言いなり・先取りで県民の痛みに寄り添う姿勢が見られない。（詳しくは裏面をご覧ください）

ご相談・ご意見・ご要望はこちらへ

日本共産党 北勢地区委員会

四日市市新正4-21-11

☎ 059-351-8184

三重県議会内

日本共産党控室

☎ 059-224-3302

